

新年明けましておめでとうございます。町民の皆さまには輝かしい新春をつつがなく迎えられたことと心からお慶び申し上げます。

国内外において、自然災害や事件事故が多発している中であって、穏やかな年の瀬、そして新年を迎えられることの幸せを私たちは常に忘れてはならないものであり、併せて白鷹の素晴らしさを再認識するとともに、今後においても更なる発展を願うものであります。

さて、昨年の世相を表す漢字が「暑」に決まりました。夏の平均気温が最高を記録し、猛暑による熱中症で倒れる人が続出したことや、チリ鉱山の落盤事故で暑中を無事生還したことなどが理由のようでありました。改めて異常とも思える気象の今後が心配される一年でもありました。

一昨年国民の絶対的な支持を得て、民主党を中心とした新政権が誕生し、その中で次々に打ち出されるマニフェストに、国民は強い関心と大きな期待を持ちながら国政を見つめてきたものと思います。「何かが変わる」「変わって欲しい」そんな熱い思いを託しての衆議院選挙でありました。しかし、その期待はしぼみ、失望やあきらめ、不信感の残った一年であり、そして夏の参議院選挙は、民主党の大敗、更にねじれ国会であります。国民の願いは安定した生活であり、安定した政治であります。今後の「日本丸」を間違いのない方向に導いてほしいと強く願わざるを得ません。

第5次町総合計画基本計画も2年目を迎え本格的な事業に入る年です。昨年においても重要事業である「荒砥橋の架け替え」「荒砥高校の存続の問題」「中山小学校利活用の問題」などについて大きな前進があった一年でありました。今後白鷹町も課題が山積しているわけですが、『可能性ある町白鷹』を信じながらまちづくりの全力で取り組んでいきたいものです。

以上、新年にあたり所感の一端を述べさせていただきます、町民の皆さまのご健勝を心からご祈念申し上げます、年頭に当たってのご挨拶とさせていただきます。



白鷹町議会議長 船山 仁

年頭のご